

令和 7 年度における大阪急性期・総合医療センターの

非常用自家用発電設備の保守点検業務 仕様書

1. 件名

令和 7 年度における大阪急性期・総合医療センターの非常用自家用発電設備の保守点検業務

2. 概要

本仕様書は、地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター（以下「当センター」という。）が所有している非常用自家発電設備定期点検業務について、必要な事項を定めるものとする。

3. 作業場所

大阪府大阪市住吉区万代東三丁目 1 番 56 号

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪急性期・総合医療センター

4. 納期

令和 8 年 3 月 31 日まで

5. 機器概要

（1）大阪急性期・総合医療センター

1, 250 kVA ディーゼル発電設備 (AY40L-ET) × 3 基

（2）災害拠点病院支援施設

1, 250 kVA ディーゼル発電設備 (12NHL-ETP) × 1 基

6. 点検及び部品の交換

関係法令に従い点検を実施するとともに、部品の交換を行うものとする。

（1）点検項目及び点検内容

①大阪急性期・総合医療センター

9 月点検 … ・消防 6 か月 (機能) 点検

3 月点検 … ・消防 1 年 (総合) 点検

・内部観察点検

・潤滑油、冷却水分析

- ・ 部品交換（別紙明細書参照）

②災害拠点病院支援施設

- 9 月点検 … ・ B 点検（消防 6 か月点検を含む）
- 3 月点検 … ・ C 点検（消防 1 年点検を含む）
 - ・ 内部観察点検
 - ・ 潤滑油、冷却水分析
 - ・ 潤滑油、冷却水交換
 - ・ 部品交換（別紙明細書参照）

（2）点検実施時期

9 月点検 … 令和 7 年 9 月

3 月点検 … 令和 8 年 3 月

点検日程については別途協議の上、決定する。

（3）点検報告

点検終了後、消防用設備等点検結果報告書及び点検整備結果報告書を各 2 部作成し、当センターへ提出すること。

なお、これらの報告書の提出をもって各点検業務の完了とする。

（4）部品の交換及び修理

交換する部品について、メーカーが指定（性能・純正品の使用）する場合は、指定品を使用するものとする。

点検により修理又は交換を必要とする箇所が発見された場合は、直ちに当センターに報告するものとし、修理等について協議するものとする。

7. 費用負担区分

（1）作業費及び諸経費

作業費、及び諸経費（点検に必要な器具・用具・消耗品等を含む）は受注者の負担とする。

（2）修理時の部品交換費

修理に関して部品交換が必要な場合は、当センターの了解を得た後、行うものとする。

費用は当センターの負担とするが、受注者の責によって交換の必要が生じた際は、受注者の負担とする。

（3）保守点検作業時の光熱水費

当センターは、作業に必要な光熱水費を負担する。

8. 安全管理

- （1） 作業計画にあたっては、十分な現場調整を行い、綿密かつ無理のない工程を組

むこと。また、労働安全対策等の準備を行い作業の安全確保を最優先としつつ、迅速な進捗を図るものとする。

- (2) 受注者は、本契約に伴う一切の作業遂行及び安全確保に係る労基法、労安法その他法令上の責任及び作業従事者の規律・秩序及び風紀の維持に関する責任を負うこと。また、当センター規程等を遵守し安全性に配慮し業務を遂行し得る能力を有するものを従事させること。
- (3) 受注者は、作業着手前に当センターと安全について十分に打合せを行うこと。また、作業の安全について指摘を受けた場合は、速やかに改善すること。
- (4) 作業中は常に整理整頓を心掛け、安全及び衛生面に十分に留意すること。
- (5) 受注者は、異常事態が発生した場合、当センターの指示に従い行動するものとする。

9. その他

- (1) 本仕様書に記載なき事項についても、技術上当然必要と認められる項目については受注者の責任において実施すること。
- (2) 当該作業において当センターの物品を毀損しないこと。万一毀損した場合は当センターと協議の上速やかに受注者の責任において修理、交換すること。
- (3) 本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、当センターと協議の上その決定に従うものとする。